

## 1 貯蔵花粉の発芽試験を実施します

	受付月日	受付時間	受付場所	結果の報告
(旧)第1選果場管内	3月17日(火)	午前9時~10時	梨会館	受付翌日、梨会館入り口
(旧)第2選果場管内	3月18日(水)	午前9時~10時	梨会館	受付翌日、JAなのはな南部支店、(射水市は別途対応)

## 2 病害虫対策について

### (1) 黒星病対策 (落葉処理・芽基部病斑除去)

①落葉処理の実施面積率は、現在95%程度となっています。

②なお、3月から落葉からの孢子飛散が始まるので、2月末を目途に、処理後の園地内(特に園地周囲、幹元)や周囲の側溝などに葉が原形のまま残っていないか、確認を行って下さい。(必要であれば、落葉処理を再度行って下さい。)

③りん片脱落期に枝をふるってもりん片が落ちない芽や枯れたりん片が残っている芽は、黒星病罹病芽の恐れがあるので切除して処分して下さい。

④黒星病の芽基部病斑は見つけ次第、摘み取って園外に持ち出して適正に処分して下さい(特に受粉前に作業の徹底を図りましょう)。

※黒星病対策は、平成28年1月に配布された「呉羽梨黒星病対策指針」や「黒星病Q&A集」、昨年秋に配布された「落葉処理マニュアル」なども参考にして的確に取り組みましょう。



<落葉処理が不十分な園地例>

ロータリーの走行速度が速く、爪も深すぎて、葉が原型のまま浮き上がっている

### (2) 農薬防除の実施について(昨年、カイガラムシ類、ハダニ類が多かった園地を対象とした特別防除)

【害虫対策】下記の農薬のうち、どちらかを選択して下さい。

散布時期	薬剤名	主な対象害虫	濃度	10a当たり散布量	防除実施日
2月下旬 (休眠期)	機械油乳剤 95	カイガラムシ、サビダニ、ハダニ類及びその越冬卵	20倍	200~300 リットル (十分量)	
	アルタベール フロアブル	ハダニ類、クワコナカイガラムシ、黒星病	40倍		

#### 【注意事項】

- ・機械油乳剤 95 は、樹勢が弱っている場合や連年使用した場合、薬害を生じる恐れがあるので注意して下さい。
- ・散布は暖かくて風のない日を選んで行ってください。
- ・発芽後の散布は薬害の恐れがあるので、必ず2月中に散布して下さい。

### (3) 耕種的対策の実施

粗皮の隙間にはナシヒメシンクイやハダニ類等が越冬しています。粗皮削りを積極的に行いましょう。また、輪紋病のイボ皮も削り落しましょう。

## 3 誘引・花芽整理

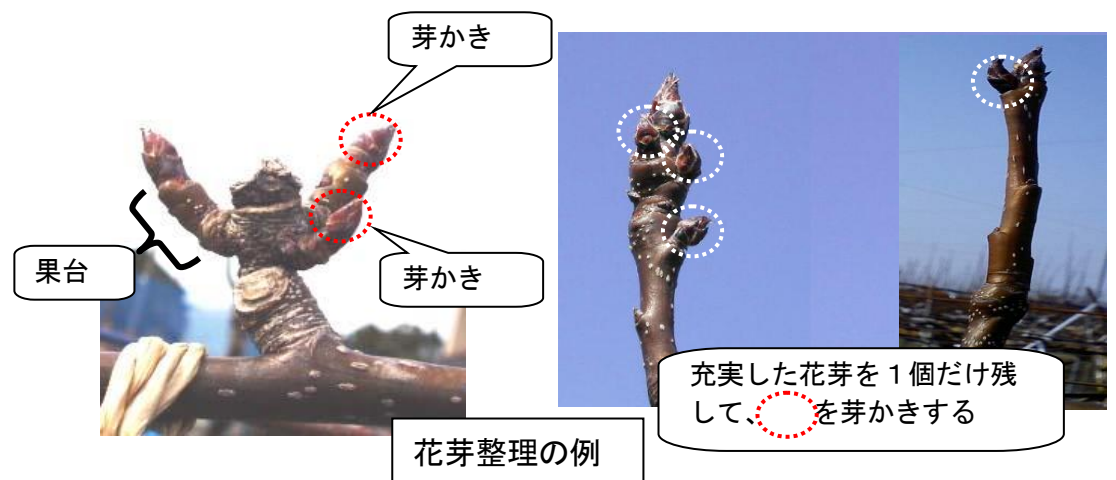
### (1) 誘引 (棚付け)

- ・側枝間隔は40cm程度を基準に、枝が交差しないように配置するとともに、弓なりにならないよう、棚に水平に誘引しましょう。
- ・側枝バランスの目安として、「幸水」は長果枝50%、2年生側枝30%、3年生側枝20%、「豊水」は長果枝と2年生以上の側枝の比率が1:2程度になるよう、古い側枝を積極的に更新しましょう。
- ・予備枝は、優良な長果枝育成に重要であるとともに、樹勢維持強化にも役立つので、できるだけ多く配置するように心がけて下さい。

## (2) 花芽整理

- 目的：短果枝や短果枝群（しょうが芽）上に複数ついている花芽の中から余分な花芽を整理することで、開花・結実時の貯蔵養分の消費が少なくなるとともに、その後の摘蕾、摘果作業の省力化につながります。  
また、薬剤の透過性も向上し、黒星病やカイガラムシ類等の防除効果が高まります。

- 整理方法：側枝の外側を向く充実した花芽1個を残し、その他は果台を残して花芽をかき取る（果台を残すことにより、不定芽から葉が発生し、葉数が確保できる）。また、下芽、弱小花芽は他に十分花芽がある場合には切除する。



## 4 凍害対策

苗木～4年生程度までの樹は、発芽前頃から急速に耐凍性が弱まり、抵抗力が低下します。凍害は、日中の気温（15℃以上くらい）が高くなり、朝の気温が-2～-3℃程度まで下がる時期に発生しやすくなります。通常は3月中下旬～4月初旬頃が凍害を受けやすい時期ですが、今年は1月から気温が高い日が多いので、早急な対策が必要です。

凍害を受けると苗木や若木は樹勢低下や枯死につながる場合があるため、下記の凍害対策を行ってください。

<具体的対応策>

- アルミ蒸着シートの巻き付け（日中の温度上昇の抑制）  
主幹部の地際から80cm程度の高さまで、アルミの面を外側にして巻き付ける。使用する資材は厚さ1～2mm程度の緩衝資材の片面にアルミ蒸着されているもの（ホームセンター等で購入可）。
- わら巻き（保温）  
上記と同様に主幹部にわらを巻く。まとめて仮植してある場合は、コモ等を巻いて保温に努める。



アルミ蒸着シートの巻き付け



わら巻き

## 5 春肥の施用

春肥は3月中下旬頃を目安に施用しましょう。

<10aあたり施用例>

- 例1 BM有機果樹専用(8-7-7) 100kg（成分量 窒素8.0kg、リン酸7.0kg、カリ7.0kg）
- 例2 なのはな梨配合(7-7-3) 100kg（成分量 窒素7.0kg、リン酸7.0kg、カリ3.0kg）

## 6 開花予想

1月の平均気温は6.1℃（平年比+3.4℃）と高温となり、2月に入ってから、高温傾向が続いています（2月3半旬までの平均気温は4.6℃（平年比+2.3℃））。

2月17日現在の開花予想日は右表のとおりで、ほぼ平年並みの予想となっていますが、今後の気温に大きく左右される可能性があります。

最新の情報については今後発行する特報や梨メールでご確認ください。

2月17日時点の開花予測		
令和2年予想		
品種名	開花始め	満開日
幸水	4月17日	4月21日
豊水	4月14日	4月18日
あきづき	4月15日	4月18日
新高	4月11日	4月15日

※今後の気温が平年並みに推移した場合

## 7 農業サポーターがお手伝いします

平成18年よりサポート活動を開始して以来、農業者の皆さまのご支持を得て、梨の摘果作業などにおいてサポート活動を行っています。昨年は19名の梨生産者の方がのべ987人のサポーターを活用されています。（主な活動内容：人工受粉、摘果、収穫）

農繁期に人手が足りずお困りの方や、年間を通じてサポートが必要な方は、下記までご相談ください。

【お問い合わせ】 特定非営利活動法人(NPO法人) 里山倶楽部（サポート業務窓口；tel.076-411-4401）  
富山市農林水産部営農サポートセンター（tel.076-429-4504）